

はじめまして。「野津田・雑木林の会」と申します！

●私たちは、長く「公園の中に里山の風景を残したい」と活動を続けています。1980年、公園計画が決定された当初、市はこの土地を総合スポーツ公園にする予定でした。農家の方たちの暮らしの場であったそこは、耕した畑が並び、手入れの行き届いた雑木林が連なる自然の宝庫。会では何とかそれを残せないものかと署名活動、市への提言、自然調査、自然教室など種々な活動を展開。現在、公園の約半分の東側24ヘクタールには雑木林、畑、のびやかな草地在り、スポーツ施設が多い西側エリアとは異なる公園らしくない風景が広がっています。そしていま私たちが中心に取り組んでいるのは、この風景を守りながら、子どもが自然と触れる場として上手に活用していく提案と実践。次のような活動を行っています。



★月1回の「森の学校」、そして里山ワークショップ開催（原則第1日曜日）

私たちの活動のキホンのキ。動植物の観察会や生物調査、野遊び体験、雑木林の手入れ、簡単クラフト制作など盛りだくさん。野津田の四季を広く、そして気軽に楽しめず。春の里山ワークショップでは、野津田公園で摘んだよもぎに石臼できな粉をつくり、子どもたちと一緒によもぎだんごをつくります。初夏の「草いろいろワークショップ」では、草で縄をなったり糸をつくったり、野草茶を味わったり先人の知恵と技を学びます。



★公園内の遊休畑地を活かした「むぎぼたけ」活動（原則第3日曜日）

公園東南部、上の原の畑地の一部を利用し、地元農家の指導のもと、地域の方と交流しながらの麦作を行っています。落ち葉を集めて堆肥作りから麦踏みや伝統的な収穫作業、そして収穫物の加工などを参加家族が継続体験しています。



この体験活動はまた、公園内での里山景観の保全にもつながっています。なお、この活動は、町田市社会福祉協議会の助成事業としての位置づけで行われています。

★丘の上秋まつり（11月3日 文化の日）

自然保護、子どもの文化、福祉に関わっている“自然を愛する市民団体”約20が原っぱに集います。手作りや遊びがいっぱいの、のどかなお祭りに、年々親子連れで訪れる人が増えています。この日だけは、公園から焚き火の許可をいただき「焚き火パン」を楽しみます。縄文の味がする「どんぐりもち」は、公園のどんぐりを拾って子どもたちと一緒に作っています。



★「きつねはらっぱ冒険遊び」

なにをあそぶ？～子どもたちが思いっきり発散したり、やってみよう冒険や挑戦を自由にできる手づくりの遊び場です。木立のある草っぱなので、走ったりのぼったり、虫と出会ったり、草花で遊んだり、子どもたちはそれぞれに楽しんでいます。たとえば、夏は背の高い草の中でかくれんぼ、時には木や草をつかってお家づくり、水を運んでどろ遊び…また土手すべりや木工、手づくりのブランコ、ハンモックも大好きです。毎月1～2回開催しています。場所は東入口駐車場近く、調整池脇の草地です。
(お問合せ TEL・FAX 042-736-3328 かまがみ)



★町田市立中央図書館「小さな自然」コーナーの企画展示活動



季節ごとに雑木林や原っぱで見つかる植物、昆虫などの生の自然を、関連する図書と一緒に展示しています。町田市の委託を受けて企画から実際の展示まで行っていますが、なかなか好評です。中央図書館・児童フロアの「小さな自然」展示コーナーまでお立ち寄りください。子ども向けの自然情報紙「しぜんタイムス」の発行などとともに、分科会・草花遊びの会が担っています。

★さとやまの家プロジェクト

野津田公園における里山的環境を持続させ活用するための活動拠点、あるいは来訪者が野津田の自然と文化を知るビジタースペース、そんな“ふるさと”の香りがする居場所がほしい！という願いから、学習会や検討会を重ねて、《野津田公園DOMA=HOUSE 構想提案書》がまとまりました。このプランを具体的な形として実現させるためにも、さまざまな方のご参加をお待ちしています。提案書内容はホームページからダウンロードしてご覧いただけます。



野津田公園への交通

- ▶バス：小田急線・横浜線 町田駅下車
野津田車庫行きバス「野津田車庫」下車
- ▶バス：小田急線 鶴川駅下車
野津田車庫行きバス「野津田車庫」下車

★最新情報は・・・

ホームページを開設しております。
<http://www.nozuta.net/>
 会の活動の詳細については
 eメール：jbg02352@nifty.com
 岩田 TEL/FAX: 042-736-7306
 久保 TEL/FAX: 045-961-5045
 までおたずねください。

★その他、機関紙、入会のご案内

機関紙は、「野津田通信」を隔月で発行。野津田の自然を愛する方ならどなたでも、ご入会をお待ちしています。郵便振替口座 00140-6-27514 野津田・雑木林の会あてに年会費 1500 円（個人／家族とも）をお振り込みください。会員の方には、活動参加費が割引となります。もちろん、会員だけでなく、一般の方も気軽にご参加いただけます！



●野津田・雑木林の会 2009(H21)年度 森の学校年間計画

注: 予定を変更する場合があります。詳しくは、会報またはホームページ <http://www.nozuta.net/> をご覧下さい。
昼食は各自用意。小雨時は決行原則ですが、当日現地で実施/中止の判断をする場合もあります。ご確認は久保(045-961-5045)／菅原(090-1887-1082)までお電話ください。
参加費(大人300～500円、子ども100円～400円)をいただく月もあります。会員割引があります。

2009. 4. 5(日) 「春の里山ワークショップ」 ※雨天は翌週12日に順延
内容: ヨモギだんごづくり/野原で聞くお話会/春さがしゲーム
会場: 野津田公園 ヤマナラシ広場 10:00～15:00
2009. 5. 10(日) 桑の実・木いちごたずねてウォッチング「新緑幼虫探偵団」
集合: 野津田公園 東入口駐車場 時間: 10:00～14:00
2009. 6. 7(日) 「原っぱの時間」 —野津田公園の里山環境を体験する—
集合: 野津田公園 上の原広場・南入り口周辺 時間: 10:00～14:00
講師: 元平塚市博物館館長、08年4月より神奈川大学教授の浜口哲一さん
2009. 7. 5(日) 草いろいろワークショップ
内容: 草で糸づくり・縄づくり/野草茶づくり 他
集合: 野津田公園 ヤマナラシ広場 時間: 10:00～14:00
2009. 7. 25(土) 夏休み企画
内容: 「虫に出会えてよかった(仮)」
講師: 昆虫学者、ぐんま昆虫の森園長の矢島稔さん
会場: 町田市民文学館 時間: 14:00～17:00
2009. 9. 5(土) 夜の鳴く虫ウォッチング
集合: 野津田公園 ヤマナラシ広場 時間: 15:00～20:00
講師: 未定
2009. 10. 4(日) 市民大学「バッタ採りして考える、原っぱの自然」
集合: 野津田公園 ヤマナラシ広場 時間: 10:00～14:00
2009. 11. 3(火・祝) のづた丘の上秋まつり
会場: 野津田公園 ヤマナラシ広場 時間: 10:00～15:30
2009. 12. 13(日) 「更新実験林の手入れ」
内容: 更新実験林の下草刈りともやわけ・作業/クヌギどんぐりの実生・植え付け
集合: 野津田公園 東入口駐車場 時間: 10:00～14:00
2010. 1. 10(日) 「更新実験林の手入れ—2」
内容: 残り作業と木工作、しの竹工作
集合: 野津田公園 東入口駐車場 時間: 10:00～14:00
2010. 2. 7(日) バードウォッチング
内容: 野原や雑木林などいろいろな環境が混在する里山で過ごす鳥たちを探します
講師: 荘司たか志さん
集合: 野津田公園 東入口駐車場 時間: 10:00～14:00
2010. 3. 7(日) 「春さがしハイク/ 企画会議」
内容: アカガエルの卵をはじめ、水辺の生物を観察します
集合: 野津田公園 北入口臨時駐車場 時間: 10:00～13:00
★13:00より小野路屋敷で年間計画検討会を行います

年表：野津田・雑木林の会と町田市の歩み

町) 町田市

会)野津田・雑木林の会

- 1980年 町)野津田公園予定地(40.1ha)が総合公園として都市計画決定される
- 1981年 町)町田市が「町田都市計画野津田公園建設審議会」を設置
- 1982年 町)審議会、中間答申により、運動施設を中心とした基本計画発表。用地買収が始まる
- 1986年 会)野津田・雑木林の会の前身、「野津田公園を考える会」が発足
会)自然環境を重視した計画への変更を求める意見書を町田市、及び審議会に提出
会)第1回、「丘の上秋祭り」を開催(以後毎年継続)
- 1987年 町)審議会が最終答申を発表。中間答申とほぼ同様の内容
会)町田市議会に公園計画見直しの陳情署名(3629名)提出
- 1988年 **町)野津田公園基本設計(第1期)が発表される。地形改変の少ない設計への変更や規模縮小が実現**
町)第1期整備工事が着工となる
- 1989年 会)公園東側未整備地区(24ha)の保全活動を目指した活動が開始される
- 1990年 **町)町田市が、野津田公園内の自然に配慮して計画を見直しする意志を表明**
町)陸上競技場やフィールドアスレチックが整備され、野津田公園が開園する
- 1992年 会)会が「野津田公園・東側未整備地区活用提案書」を作成、町田市に提出
- 1993年 会)「野津田公園を考える会」が「野津田・雑木林の会」に名称変更。観察会が毎月実施に定例化する
町)町田市が野津田公園基本設計(第2期)発表。基本方針に「ふるさとの自然と文化を守り育てる公園」の一項が加わり、炭焼き釜の設置や更新実験林の設定、里山文化伝承館の計画など、会の主張が取り入れられる
会)町田市との共催による「春の里山ワークショップ」が実施される(以後毎年継続)
会)分科会「草花あそびの会」が発足、小学生向け自然情報誌「しぜんタイムス」発刊(以後隔月発行)
- 1994年 会)市民大学HATS(町田市教育委員会)の野外学習講座を会が担当する(以後継続)
町)第2期計画に無い、広場への公式テニスコート建設の計画が、急浮上
会)原っぱのSOS作戦を開始。シンポジウムを開催、市長会見で原っぱの生態系の豊かさ、原っぱで会が長年継続して他の市民団体と共に開催してきた「秋まつり」「ワークショップ」の大切さを伝える。
- 1995年 **町)公式テニスコートはヤマナラシ広場に作らず、3面の規模で臨時駐車場隣接の空き地に作ると計画を変更。**
- 1996年 町)第2期整備基本設計が発表される
会)定例観察会が「森の学校」として再スタートする
- 1997年 町)上の原地区が、第2期整備計画の先行整備エリアとなる。
会)原っぱ保全の要望書を町田市に提出
会)上の原のススキ草地で、市内小学校の生活科授業を担当する(以後継続)
会)会が、更新実験林の一部の手入れと管理を実施する。以後年2回の草刈り、毎月の定点観察等を継続中
- 1998年 会)全労済助成事業により、「野津田公園自然観察ガイドブッカー野原と林のさんぽみちー」を刊行する
- 2001年 **町)市営公式野球場の建設に向けて、調査費を補正予算案に計上**
- 2002年 町)「野津田公園2期整備区域野球場調査業務委託報告書」が公表される。
会)町田市中央図書館の児童書フロアに「小さな自然・展示コーナー」を開設
- 2003年 会)地域講座(全5回)「子どもが自然と出会う場所～野津田公園の可能性～」を開催
会)分科会「きつねはらっぱ冒険遊び」(町田市教育委員会後援事業)スタート
- 2004年 **町)公式野球場は野津田公園に作らず、小野路町の朝日生命グラウンドを買収することで決着。**
会)町田市立中央図書館／協力、まちだの図書館活動をすすめる会／共催というスタイルで、中央図書館ホームにおいて“子供と自然をつなぐ夏休み特別企画”を開催。(以後毎年継続)
会)分科会「野津田ふれあいサロン『むぎばたけ』」(町田市社会福祉協議会事業)スタート
会)野外活動の拠点施設整備計画を行政に提案する「さとやまのいえ」プロジェクトがスタート
会)さとやまのいえプロジェクトを含む「野津田公園ー里山の保全・活用・人との交流」事業が、日野自動車グリーンファンド助成対象事業に選出される

- 2005年 会)「野津田ふれあいサロン『むぎばたけ』」の活動により、第40回 東京都公園協会賞「優秀賞を受賞
町)町田市は野津田公園に軟式野球場建設を決議
会)野津田公園の野球場建設に伴い消失する「きつねはらっぱ冒険遊び」活動場所確保のため、請願署名活動を展開
会)「《さとやまのいえ=DOMA HOUSE》構想提案書」を完成、町田市に提出
会)野津田・雑木林の会ホームページスタート
- 2006年 町)野津田公園における軟式野球場建設開始
会)野津田公園における「きつねはらっぱ冒険遊び」活動場所を調整池脇に設定
- 2007年 町)野津田公園の軟式野球場完成
町・会)会が96年から毎年行ってきた更新実験林の冬の手入れ作業を、町田市との共催事業とし、広報で参加を呼びかける(以後継続)
- 2008年 会)1年を通して毎月開催する「森の学校」が、教育委員会後援事業に認定される。
町)12月に「09年度に野津田公園陸上競技場を改修し、1万人規模の観客席を整備する」と、市長が記者発表